

第392回三木市議会臨時会 市長 開会あいさつ

令和8年5月13日

議会の開会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

清々しい五月晴れが快い季節を迎え、さわやかな風とともに、木々の若葉は一段と鮮やかに輝いております。

市内農村部の水田では、これから6月にかけて、本市特産の山田錦の田植えが最盛期を迎えようとしています。

さて、今月1日に、団地再生の核となる多世代交流施設「HITOTOKIMIKI（ヒトトキミキ）が青山7丁目にオープンしました。この施設は、郊外型戸建住宅団地が抱える「人口減少」、「高齢化」、「空き家」などの課題の解決をめざす拠点として、共に「おぎなう・つなぐ・はぐくむ」をテーマに整備を進めてまいりました。

「おぎなう」機能として、子育て支援やコワーキングスペースなど、「つなぐ」機能として、行政や民間企業などが実施するサービスの紹介など、「はぐくむ」機能として、フリースペースや芝生広場でのイベントや体験会の開催など、時代の流れに合

わせこれからの住宅団地に必要な機能を果たすことで、団地再生につなげるものです。先日も訪問したところ、中高生の勉強する姿や家族連れで休日を過ごされる姿が見受けられました。施設のスタッフにお聞きすると、休日は家族連れでにぎわっているとのことでした。

この多世代交流施設を核として、全国的な課題である郊外型戸建住宅団地の再生に向けた先行モデルとなる取組を進めてまいります。

また、NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送に合わせ、豊臣秀吉、秀長と三木城主別所長治が戦った「三木合戦」をPRするため、「HIDENAGA（ヒデナガ）フェス」が本格始動します。「HIDENAGA（ヒデナガ）フェス」とは、「三木合戦」の時代に三木城主であった別所長治の「長（ナガ）」と、豊臣秀吉と秀長の「秀（ヒデ）」、これら3人の武将の名前に由来しています。

この取組は、年間を通じて三木の歴史を感じられる各種イベントを開催するもので、メインイベントとして、市内の三木合戦ゆかりの地を巡るクイズラリーを、今月1日から12月25日まで実施します。さらに、今月には、常時開催している

「長治公とともに三木城下町を巡るリアル謎解きゲーム」について、16日に解説付きガイドツアーを実施するほか、24日には三木合戦ゆかりの地を巡る「三木のまち歩き」特別編を実施します。このほか、三木合戦にまつわる企画展や講演会、トークショーなどを今後予定しています。

戦国史を代表する「三木合戦」という歴史を観光資源として活用し、多くの方々に三木市を知っていただくことで、地域活性化に取り組んでまいります。

そうしたなか、本日、第392回市議会臨時会を開催させていただき、議員の皆さまにご参集賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

本日の市議会臨時会では、専決処分の報告が3件、人事案件が2件の計5件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、どうか十分なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、本会期中におきまして、正副議長選挙をはじめ、各常任委員会委員の選任並びに正副委員長の選出が行われ、新しい

議会構成が決定されることと存じますが、円滑な議事運営のうちに、適切なる結果が得られますようご期待を申し上げまして、開会のあいさつといたします。